

加賀野菜

二塚からしな

栽培マニュアル



【二塚からしな】

科名
アブラナ科

原産地
中央アジア

産地
二塚地区

栽培の歴史

室町時代に日本に伝わり、金沢では江戸時代から栽培が始まったと言われている。
戦前から昭和30年代にかけて、主に水田の裏作として栽培された。

特性等

発芽適温は15℃～35度と比較的幅広い。
生育適温は18℃～20度で、冷涼な気候を好む。
低温に強く、マイナス2℃～3度になっても被害を受けず越冬する。
排水のよい、pH 6.0～6.5の微酸性土壌が適する。
無肥料で栽培すると一層辛味が増す。



栽培カレンダー

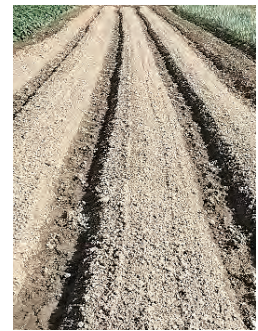
■ : 播種 ■ : 収穫 ■ : 採種

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
作業		■		■	■	■	■			■	
			← 防霜対策 →						← 防鳥対策 →		

1 播種

【播種までの準備】

- ・播種2週間前までに基肥を全面施用し、耕起、畝立てを行う。



畝立て

【播種】

- ・播種は、9月20日以降に行い、10月20日頃までに終了させる。
- ・播種機を使い、株間5〜6cm、条間10〜12cmの5条植えとする。
- ・（播種機がない場合は筋蒔きとする）
- ・覆土の厚さは5mm程度とする。
- ・4〜6日で発芽する。

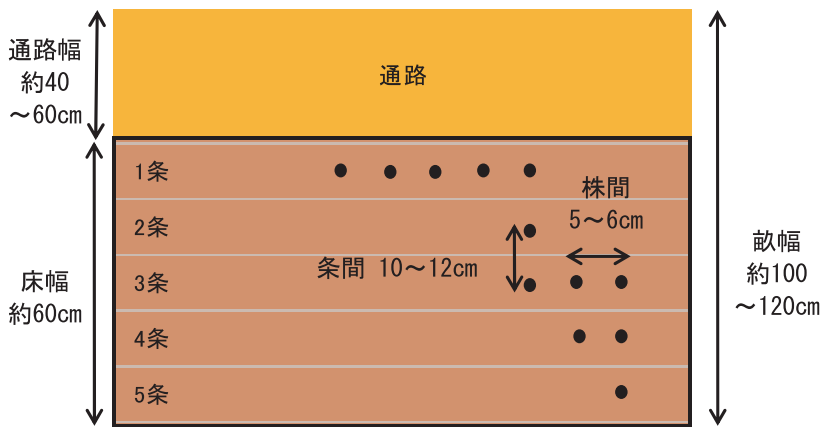


播種5日後



播種機による播種

【畝作り(例)】



ポイント

- 基肥はあまり施用せず、追肥で管理しましょう。基肥を効かせると、短期間で成長しますが、ゆっくりと成長させた方が辛味が増します。
- 播種は9月20日以降に行いましょう。播種時期が早いと辛味が少なくなります。二塚からしなは寒さにあたることで、辛味が増します。

【施肥設計(例)】

(単位: kg/10a)

肥料名	基肥	追肥	成分量
苦土石灰	100		N13.2 P12.0 K12.8
粒状固形30号	100		
燐硝安加里S604号		20	

【播種計画(例)】

9月			10月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
		● 1回目	● 2回目	● 3回目	

2 間引き

- ・本葉3〜4枚頃までに間引きする。
- ・株間は10〜15cm位を目安にする。
- ・生育不良株があれば、除去する。



間引き前



間引き後

ポイント

- 間引く株の選び方
 - ・虫食いや病気のあるもの
 - ・徒長したもの
 - ・他の株に比べて小さいもの
 - ・他の株よりも極端に大きいもの

4 管理

【灌水】

- ・基本的に灌水は行わない。
- ・葉が萎れるほど乾燥するようであれば、午前中に行う。

【防霜対策】

- ・低温には強いが、霜が降りると葉が変色し傷んでしまうため、11月上旬に寒冷紗で被覆する。



①約1m間隔で支柱を立てる



②寒冷紗で被覆する

ポイント

- 追肥を効かせすぎると「苦味」がでます。
- 雪が降ると、葉と葉の間に雪が入り出荷調整に手間がかかります。防霜対策と兼ねて寒冷紗で被覆しましょう。
- 辛味の見極め方
 - ・葉が縮れている
 - ・葉にとげがある



辛味なし



辛味あり

3 追肥

- ・株間に追肥を行う。
- ・本葉5〜6枚頃を目安とする。